

防災会へのスタンドパイプ 設置を推進せよ



みんなの党 石川 直行

平成25年度には、区内14地区の防災会にスタンドパイプが配備された。①順次、各防災会に対し、配備を推進すべきでは。②防災会が独自に設置する場合の助成などの検討

も必要と考えるがどうか。
区長 ①全防災会へ3カ年で配備予定である。②区が主体的に配備することとしており、助成は考えていない。

増え続ける空き家問題の 独自解決策を早期に検討せよ



自由民主党議員団 佐野 れいじ

放置された空き家は防災・衛生・犯罪などの問題を招く危険性があり、地域住民の日常生活に不安を与えている。①法令施行までに問題が生じた際の区の対応は。②罰則を

含む条例を制定すべきでは。
区長 ①法律や条例の有無にかかわらず、区民の問い合わせや相談には誠意をもって対応し、敷地建物所有者にも自主的な処理の指導・助言を継続して行う。②法律案の進捗状況や、他区の条例などの運用状況を把握しつつ、区独自の取り組みを検討したい。

平成26年度予算を問う

自由民主党議員団

伊藤 正信



予算規模が4年連続で、前年度予算を上回った。区の基幹収入である特別区税の一つ、特別区たばこ税も前年度予算に比べ1億2千万円余、5.8%増えていると聞く。中野駅周辺のまちづくりの効果によって、ファミリー世帯や昼間人口が増え、特別区税の税負担の構造に変化が起きていると考えるが、区の見解は。

区長 新築マンションなどへの転入で40歳から50歳前半の層の住民が増えたことと、減少するたばこの全国的な販売数と比較して中野区の減少幅が小さいのは、区内の昼間人口増加が一因と分析する。
指定管理者制度を生かせ
施設管理・運営を効率的かつ効果的にサービスの向上を

区長 不法投棄が増え、生活環境に影響を及ぼしている。
区長 ①区内で4559件の不法投棄があり、処理費用に1250万円を要した。
区長 ②不法投棄を抑制するために監視カメラを20台購入し、指導を行っても改善の難しい集積所に一定期間取り付けて適正排出への誘導を図っていく。

区長 ①区内で4559件の不法投棄があり、処理費用に1250万円を要した。
区長 ②不法投棄を抑制するために監視カメラを20台購入し、指導を行っても改善の難しい集積所に一定期間取り付けて適正排出への誘導を図っていく。

区長 ①「新しい中野をつくる10か年計画(第2次)」などの各種計画や方針は、人

地域包括ケアシステムを 確立せよ

公明党議員団

木村 広一



地域包括ケアシステムとは、団塊の世代が後期高齢者となる2025年を見据え、高齢者が認知症や重度の要介護状態になっても可能な限り住み慣れた地域で暮らせるよう、医療、介護、介護予防、住まいなどを一体で支える体制である。①医療と介護の具体的な連携を図るべきではないか。

区長 ①介護医療連携シートなど具体策を検討し、地域包括ケアシステムの体制づくりを進めていきたい。②介

区長 ①生活習慣病予防などの視点から、レセプト情報の活用を積極的に検討したい。②連携・協力を進める方向で検討していきたい。

区長 ①「合同点検の実

中野四季の森公園拡張用地を 適切に整備せよ



自由民主党議員団 内川 和久

区は中野四季の森公園拡張用地を公園用地として取得したが、整備は一向に進んでいない。①中野中学校新校舎に南側から登校する生徒のために、拡張用地を通る通学路を整備することだが、平成26年4月の開校に間に合うのか。②中野中学校のグラウンドと拡張用地を一体利用できるとした構想に変更はないのか。③拡張用地は暫定的にも公園として利用できるような整備すべきではないか。

区長 ①整備は平成26年3月17日までの工期で行う予定である。②当初は一体的な利用を検討したが、現在では災害時に出入りできる門扉を2カ所設置することを考えている。③暫定整備をし、一時開放することも検討したい。

区長 ①医療救護所に、主に急性期に使用する救急医薬品や医療器具を配備している。都の備蓄リスト案を参考に、備蓄の方法などについて検討していく。②関係機関などで構成する災害医療連携会議を設置し、連携を図る体制を構築した。今後、この会議

(仮称)本町五丁目公園の 整備計画を問う

自由民主党議員団

吉原 宏



①(仮称)本町五丁目公園基本設計(案)についての意見交換会の後に、周辺住民から落ち葉の問題が寄せられたと聞くが、どのような要望があったのか。②中野通り側にはケヤキの原木が多く残って

おり、落ち葉の時期は、風向きにより大量の落ち葉が周辺の道路や住宅に飛んでくる。周辺住民は清掃などが大変であるが、区はどのような対応をとったのか。③今後の区は



(次頁に続く)